

# 想

作詞作曲: mutou



9 ♩ = 140  
C F G C C Em Am F

かなしい ことはかん がえたく ない うれしい ことはわ すれたく ない

17 Em Am7 Dm7 G Am7 Dm7 G7 C

ひまなと きにさび しいとか んじる なんでこ うなのと おもうこ とある

25 C G Am Em7 F C Dm G

あたたか いみずは いつかひ えるだろう そっとて をあてあ たためて ほしい

33 C G Am Em7 F C Dm G

ひえきっ たみずは いつかこ おるだろう そうなる まえにあ たためて ほしい

41 Em7 Am F G Em7/G Am Bdim C

令和5年度文化祭に向けて 「想」<sup>そう</sup>ができるまで

はじめに

音楽の授業では、表現（歌唱・器楽）、鑑賞、創作の3分野を学習の柱としています。

その中でも創作は彼の得意分野で、昨年の文化祭で難解な曲が披露されたのをご記憶の方も多と思います。今年度は音楽の基礎を学び、コードを自由に使えるようになりたいという希望がありました。4月からコードの機能やコード進行を学習してきました。

## 2 学期の取組み

コードの学習も一区切りついたところで、今年の創作をどうしようかということになりました。今年の文化祭のテーマは想造と聞き、文化祭のテーマに基づいて何かできないかと考えました。どんな曲を作るかいろいろ考えましたが、「みんなで歌える曲」はどうかと思いシンプルで歌いやすい曲作りを始めました。

### ① コード進行を作成。

曲の作り方はいろいろありますが、今回はコード進行をまず作ることにしました。これまでの学習の成果を発揮です。文化祭でみんなが歌えるような曲ということなのでハ長調、4分の4拍子もすぐに決まりました。

### ② コードに合うメロディーを考える。

これは試行錯誤の連続ですが、歌いやすく自然なメロディーラインを考えました。

### ③ 歌詞を考える。

作詞は難しいというので、とりあえず文化祭のテーマの想の部分から連想される言葉や短いフレーズを出してみました。これはそのまま歌詞になるのではと思い仮の詞を完成させました。

### ④ 詞とメロディーの調整

声に出して歌ったりパソコンから音を出して聴きながらメロディーや歌詞をより良いものへと変えていきました。ここは納得のいくまでと言いたいのですが、なかなか難しい。

### ⑤ イントロとエンディングとタイトルを考える。

曲にふさわしいイントロとエンディングを考えます。いろいろ試した結果これに落ち着きました。タイトルも文化祭のテーマそのままに「想（そう）」としました。

## できた曲を聞いてみて

イントロはとてもシンプルで笛の演奏でもよいかと思います。少しゆっくりなテンポが良いのではないのでしょうか。独り物思う感じが出ています。歌の部分は素直な詞に素直なメロディーがついています。4分の4拍子ですが大きな2拍子を感じて歌うと良いと思います。サビも何か温かい気持ちになりませんか？エンディングは奇をてらうことなく、しかし最後のコード進行にこだわりが見えます。

(文：河村光子)